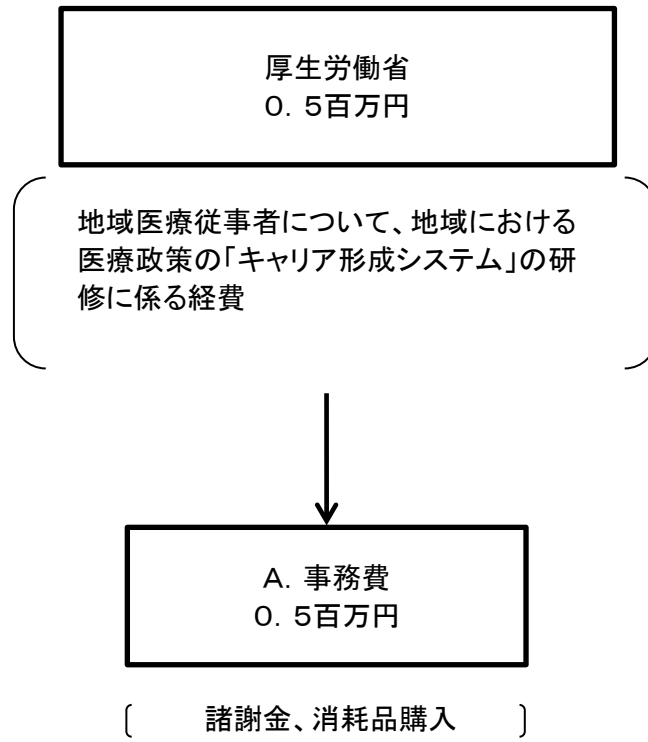


平成27年度行政事業レビューシート(厚生労働省)

事業名	地域医療推進専門家養成事業			担当部局庁	医政局		作成責任者	
事業開始年度	平成19年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	地域医療計画課 医師確保等地域医療対策室		室長：佐々木 昌弘	
会計区分	一般会計			政策・施策名	I-1-1 日常生活圏の中で良質かつ適切な医療が効率的に提供できる体制を整備すること			
根拠法令(具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	平成24年3月30日医政発0330第28号「医療計画について」平成24年3月30日医政指発0330第9号「疾病又は事業及び在宅医療に係る医療体制について」等			
主要政策・施策				主要経費	その他の事項経費			
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	地域完結型の医療提供体制を構築するため、都道府県における地域医療推進のリーダーの養成をするとともに、リーダー間の交流を図ることを目的とする。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	医療計画の推進は、都道府県における主体的な施策の実施が必要である。そのため、都道府県職員には、関係法令及び制度についての理解、関係データの収集、評価及び分析手法等の実践的技術、関係者間の調整能力等を身につけるための研修を行う。							
実施方法	直接実施							
予算額・執行額(単位:百万円)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求		
	予算の状況	当初予算	2	2	2	1		
		補正予算	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-		
	計	2	2	2	1	0		
執行額	2	0.2	0.5					
執行率(%)	100%	10%	25%					
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 27年度
	作業部会(地域の実情に応じた医療体制を構築するための協議の場)を開催する都道府県数を増やす	作業部会を開催した都道府県数	成果実績	県	35	36	39	
			目標値	県	35	36	39	42
			達成度	%	100%	100%	100%	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込	
研修会の回数	活動実績	回	4	1	1			
	当初見込み	回	4	1	1	1		
単位当たりコスト	算出根拠		単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込	
	X/Y X:「執行額」 Y:「実績」	単位当たりコスト	円	516,000	200,000	500,000	500,000	
		計算式	X / Y	2,062,000/4	200,000/1	500,000/1	500,000/1	
平成27・28年度予算内訳(単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	0						
	委員等旅費	0						
	庁費	1						
計	1	0						

事業所管部局による点検・改善					
	項目		評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	都道府県が医療提供体制を構築するため、地域医療推進のリーダーの養成は必要であり、国費を投入すべき。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	都道府県職員に対しての会議のため国が実施すべき事業である。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	都道府県が医療提供体制を構築するため、地域医療推進のリーダーの養成等の研修は必要であり、優先度は高い。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-	-	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	26年度は外部講師への謝金を支払ったため、内部講師で実施した25年度よりコスト増となっている。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	都道府県職員の養成や交流等必要なものに限定している。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○	平成27年度から都道府県が地域医療構想策定することとなり、策定のためのガイドラインを策定するため、平成26年度は検討会が行われていた。策定されたガイドラインに沿った研修プログラムを考える予定だったため、平成26年度は1回の開催となった。	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		-	-		
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		○	成果実績は、成果目標に見合ったものとなっている。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	活動実績は、見込みに合ったものである。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-		
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-		
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
点検・改善結果	点検結果	平成27年度から都道府県が地域医療構想策定することとなり、策定のためのガイドラインを策定するため、平成26年度は検討会が行われていた。策定されたガイドラインに沿った研修プログラムを考える予定だったため、平成26年度は1回の開催となったが、27年度はそれらを踏まえ、地域完結型の医療提供体制を構築するため、都道府県における地域医療推進のリーダーの養成をするとともに、リーダー間の交流を図ることが必要であるため、継続して実施してまいりたい。			
	改善の方向性	研修プログラムを再構築し、地域完結型の医療提供体制を構築するための研修を行うことにより、地域医療推進のリーダー養成やリーダー間の交流を図ることが出来るよう、引き続き事業を進めていく。			
外部有識者の所見					
行政事業レビュー推進チームの所見					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	44	平成23年度	37	平成24年度	38
平成25年度	17	平成26年度	16		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取
り先が何を行っ
ているかについ
て補足する)
(単位:百万
円)

A.			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
諸謝金	検討会出席委員への謝金	0.4			
計		0.4	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

支出先上位10者リスト

A.					
	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入 札 者 数	落 札 率
1	委員(複数)	検討会出席	0.4	—	—
2	(福祉)友愛十字会友愛書房	消耗品販売	0.1	随意契約	—